

校長・ごあいさつ

令和6年度となり、羽田中学校の校長として2年目を迎えました。

今年度より、「おおた国際教育」推進校となり、国際教育として生徒の視野を広げ、自分ごととして社会を見ることができる指導をしていくこととなりました。また、国際教育の柱として、「おおたグローバルコミュニケーション（OGC）」という使える英語を身につける教育をしていくこととなります。

本校では、ALTが全ての学年で毎時間の英語授業に入り、ALTとのコミュニケーションを通して学習することになります。また、東京グローバルゲートウェイ（英語村）での研修授業も全学年行うこととなります。OGCを通して、必要な学習の努力を楽しくできるよう指導をしていく所存です。卒業時には、ふつうの生徒がふつうに授業を受けていれば英検3級がとれることを目標としていきます。

また、国際教育を通して、地元の羽田・糀谷のこと、大田区のこと、日本のこと、自分の背景となる文化を学び、自分に自信がもてるように成長を促していきます。何よりも、社会の一員として自分の社会を自分たちの手でつくりあげていく機会を多く与えたいと思っています。それが、国際人として自分ごととして地球規模での課題を考え実践していく基礎となるはずです。

地域や保護者の皆様には、さらなるご理解とご支援をお願いします。教職員一同、皆様とともに、地域の生徒を社会に羽ばたけるよう育てていきたいと思ひます。

【羽田中学校について】

日本の空の玄関「羽田空港」に隣接する本校は、昭和22年5月「萩中中学校」として開校し、昭和28年4月に「羽田中学校」に改称されました。平成29年に開校70周年を迎えた歴史と伝統のある学校です。

平成23年度に改築工事が終わった現校舎は、太陽光発電、屋上緑化、壁面緑化が施されたエコスクールとなっています。また、冷暖房施設は全ての教室はもちろんのこと、廊下や体育館、武道場、ランチルームにまで設置されており、整った施設の中で、生徒たちは健やかに学校生活を送っています。

さて、本校の校章と校歌についてご説明します。

まず、校章は本校初代校長小林俊之助の依頼により当時の美術科教員草地寛一が「旭光（羽田沖に昇る日の光）」と「羽毛（海上を飛び交うの羽）」を図案化したもので、輝かしい未来に向けて元気よく羽ばたこうとしている生徒の姿を象徴しているようです。

また、校歌の3番では「西ゆ東ゆ雲わけて外つ国人も集い来る」と歌われ、この羽田の地が、世界中の人々が集まってくる国際都市であることを誇っています。

本校が恵まれているのはハード面だけではありません。地域の皆様、同窓会の皆様、PTA役員並びに委員の皆様、保護者など多くの皆様から、温かく見守られ、ご支援いただひており、ソフト面でも充実しています。

今後とも、羽田・糀谷の熱い文化を受け継ぎ、すべての活動に熱く向き合える生徒を育成いく所存です。

H Heart 「豊かな心」

自他の命を尊重し、互いの存在を認めあえる生徒

N Never Give Up 「あきらめない意志」

夢実現のため、あきらめない強い意志をもった生徒

D Do Your Best 「全力で学び、全力で体を鍛える」

中学校生活に最善を尽くして取り組める生徒

令和6年4月1日

大田区立羽田中学校

校長 小川 幸男